

## 川柳マガジンクラブ東京句会 8月

平成22年8月8日(日) 亀有喫茶モアにて

参加30名 出席18名 投句12名

石崎流子、佐道 正、星野睦悟朗、ELVIS、

伊藤三十六、村田倫也、小野六平太、加藤品子、

河野桃葉、土江裕美、小倉利江、菅井京子、

菊地順風、丸山芳夫、藤原栄子、関 玉枝、

甲野竜雄、松橋帆波。

欠席投句

白勢朔太郎、白子しげる、加藤ゆみ子、浦川一平、

山田こいし、棚瀬くんじ、徳島一郎、飯島圭子、

正木三路、平松 健、萩原ともよ、高田以呂波。

## 自由吟句評会

**金魚売り金魚がこぼれそつに来る 芳夫**

動物を詠んでいる句が好きです。こぼれそつに来るとい  
表現で、よく捉えられている。倫也

情景が判り、楽しそうない句です。栄子

江戸川柳ほくて、この時期にふさわしい。正

情景が目に見えるようだ。順風

こぼれそつにというところが天秤棒を思い出させる。帆波

作者 金魚売りのユラユラ揺れるところを何かいい表現

がないかと考え、こぼれそつに来るとい表現を見つけた

**下車駅でピタリ目覚める技を持つ 正**

下五の「技を持つ」というところが効いている。芳夫

「居眠りのつかえ棒が急に下車」という句を詠んだこと

があります。玉枝

いいなと思いました。六平太

作者 そのままの表現です。最近ピタリと目が覚めるよ

うになりました。

**タレントのおばかテストに腹かかえ 栄子**

「おばか」で切るのか「おばかテスト」なのか。芳夫

腹を抱えるのは視聴者でしょうか？京子

作者 丁寧に「おばかテスト」と表現してみた。腹を抱え

るのは見ている私です。

**どこをどう来たか飲兵衛家に居る 玉枝**

主人をみていると実感として判ります。京子

最近少しお酒が過ぎるとどう帰ってきたのか分からなく

なることがある。竜雄

私自身の実感があります。六平太

ちゃんと帰ってきているという点、実感を共有できる。

帆波

詠んだのが、奥様なのか、飲兵衛なのか。また読み方によ

ってはご主人ではないとも取れそうで、迷っているうちに

次点にしました。睦悟朗

作者 私は一滴も呑めないが、よく聞く話で、飲兵衛とい

う言葉を見つけた。

**痛快だ歩が王手をかけるなんて 朔太郎**

成金になってかと思っただが。竜雄

打ち歩詰めはルール違反なので、歩でないほうがいいので

は。倫也

どうして歩にしたのだろう。「痛快だと金が王手かけると

は」でリズム良く収まると思うのだが。睦悟朗

作者 将棋の世界では「歩」は最も弱い存在であるが、敵

陣に入り成金ともなれば金将の役目を有し、王手をかける

チャンスもある。チャンス到来ならば痛快である。

**鶴と亀所詮異なる生い育ち 三十六**

所詮は育ちが違うと思えば平和でいられると思う。玉枝

作者 結婚式の鶴と亀のことです。

**いまもなほ軍手の呼び名庭いじり くんじ**

死語になる言葉が多いのに何故「軍手」は生き残っている

のだろう。倫也

ひとりで畑をしているといういろいろなことを思う。そのなか

で何故こいつは軍手と呼ぶのだろうと考えると面白い。

目を覚まさせてもらった。なるほど軍手の軍は軍隊の軍だ

な。正

士仕事と軍手は良く合う。軍手という呼び名の似合う感じ

がしました。芳夫

軍手の軍は、江戸時代末期鉄砲が錆びないように手袋をし

たことが始まり。「軍用品」を扱う手袋が縮まったらしい。

作者コメントはございませんでした。帆波

**ソーラーはステータスだという噂 睦悟朗**

ソーラーは今かなり普及している。目の付け所が面白い。

品子

作者 今ソーラーセルは国から補助金が出るのでメーカ

ーも流行らせている。しかし実際元を取るには長い年下が

かかる。つけている人は格好いいからという理由もあるの

でしょう。

**ふるさとのそうめん流し水自慢 一平**

鳥根でそうめん流しを食べた時が美味しかったので。裕美

水自慢という表現が面白い。芳夫

作者コメントはございませんでした。

**リズムの中で私が虹になる こいし**

夢があつて良いです。素敵な句。利江

作者 リズムに光りを当てて壁に映すと虹が出る。あれ

は私です。

**似ているが人魚は売らぬ金魚売 こいし**

人魚と金魚の言葉遊び的だが川柳的で面白い。京子

他に選んだ3句の次ということ。ELVIS

作者コメントはございませんでした。

**靖国のにおいを犬に訊きたい日 ELVIS**

この時期になると靖国神社が話題になる。私の感では、

賛否それぞれの立場が政治的で、それぞれの勢力を言信し

ている人たちを犬としたのでは。信念による活動が政治的

打算なのか。八月になると騒がれるが、では靖国とは何

1

かをそれぞれの考えの人に聞いてみたいという意味か。

帆波

帆波さんの説明だと走狗の「狗」になる。始めに「靖国」と来たので広がってしまう。三十六

「訊きたい日」が難解。「犬に聞きにゆく」「聞いてみる」ではどうか。京子

「犬」が何が判らない。靖国と犬と当てはまらないような気がする。竜雄

難しく考えなかったが、地方に住んでいる人が8月15日の様子を聞きたいという意味だろうか。正

「靖国のおい」と頭に持ってきているので、そのおいは一つだろうと読んだが、そうすると後が判らなくなる。

睦悟朗

一般市民を「犬」とするのは表現として良くない。戦争体験者としては「犬に訊いてみたい」という表現は靖国にいる人たちに対してよくないと思う。利江

作者 そのまま取っていただければ。靖国神社は8月になるとマスメディアで喧々諤々議論が沸き起こる。それらを戦争体験のない人はどう捉えていいのか判らない面がある。戦争体験は人によって違う。自分ひとりでは判らない。例えば次の日に犬と散歩した時に、どんなにおいか尋ねてみたい。「犬」は人間の思想などから離れた存在として使った。

### あの世からのお呼びに慌て身じくさい 一郎

自転車で怖い思いをしたとき、何時どんな事があるか判らないので、そんなときに慌てないためにも、身の周りの整理はしておくべきだと取りました。桃葉

作者 西日本新聞川柳まつり「届く」の没句です。喜寿を迎えた者の心境の一端。

### アナログの表示と未だ根くらべ しげる

まだアナログを使っています。栄子

最後までで根競べしようと思っています。芳夫

作者 地デジ対応テレビが八割を超えたそうですが、我が家はまだアナログですので毎日催促されます。こうなったら根比べしてみようかなどと思ったりして。

### 色褪せた手土産だけで豪華旅 圭子

詰まらないお土産を持って行って豪華に対応してもらったのか、予算的なことで大した土産も買えないということか、いずれの解釈にしても「色褪せた」が判らない。

睦悟朗

深読みすると、あの世への旅では。三十六  
作者 先日来た金賢姫を詠みました。誰が呼んだのか何のために来たのか不明です。一億円の無駄遣い、狂っています。

### 百年を生きて疑われています 帆波

今の所在不明の老人のこと。生きている人が疑われた。

六平太

時事吟だと思つ。疑われないように生きたいと思つ。桃葉  
時事吟として詠むチャンスですね。三十六

まともに生きていて百年経つたのと、それをネタに儲けて

いる人がいる。流子

住民票の事だと思つ。今回の事件によって平均寿命が変わることはないそうです。これまで疑いもなく記念品をくれたいた行政から、確認をかねて疑われているような感じ。

順風

時事吟でサラリと表現しているところがおもしろい。品子生きて疑われているというのが言葉足らずでは。利江  
時事吟だが、「疑われています」だと疑われているのは自分。とすると意味が判らない。倫也  
生きているから疑われているというところに面白さがある。芳夫

作者 百年も生きているのだから役所も判っていて当たり前でしょ、というところを詠んだ。

未だ未だ未だドキドキしたい未だ傘寿 以呂波  
こつこつ気持ちを持ちたいと思つ。「未だ」を三回重ねた表現は疑問。流子

作者 コメントはありませんでした。

サラサラと生きて血痕見当たらぬ 品子  
血液サラサラから来ていると思つ。よどみなく流れている健康体だという意味。三十六

血液のことを言っているようで、人生を振り返っている。あまりにもサラサラしすぎて、ドラマが無かった人生を詠んでいるのでは。芳夫  
血液をさらさらにしちゃうという詐欺があるそうです。何もなく健康とはいえ、何も無い人生だったなという思いか。正

長寿の方の身元不明の事では。滞りなく生きてきてきたが、血痕、つまり生の証が判らないという意味では。

ELVIS

作者 サラサラやザラザラという言葉を使って詠めないかと試みた。自戒をこめてみた。血痕は時代劇などでやらに出てくるので。

スイッチに頼って脆くなる 助 利江  
じつとしていて全部りモコンでできる時代。助とは身体全体を表現している。人間全体が脆くなっているのでは。

流子

助というものは脆い骨なので、使われたのでは。

ELVIS

助という言葉の異化は広がりを持っている。帆波  
作者 冷房一つとってもりモコンで動かせる時代。助は人間を詠んでいます。

立つ位置を変えて自分を探す旅 倫也  
いい句だと思つ。上五を「軸足」と比較してみたい。前向きな作品。利江

立つ位置を変えてというのが良いと思いました。裕美  
人間というものは自分本位に考える。そこを離れて他人の目で見てみる。竜雄

自分の立ち位置、ルール、軌道を変えるパラダイム転換。自分探し。立つ位置を変えてと表現したのが良い。

作者 旅行や仕事で海外へ行くと違う文化や風景に触れ、今まで自分が生きてきた感覚が拭かれる経験があった。産経新聞より「常識人の88%は常識派である。多数派でありさえすればいいのではなく、少数派でも誇りを持てる考えを持てるのが、よほど常識的な考えだといえる。」を読んで大勢に流されたくないという思いに共感しました。「旅」という課題の作品です。

**浮動票しこたまとった柔道家 竜雄**

有名人だから票を入れる人々に対する皮肉がもっと込められていれば。ELVIS

作者 タレント、芸能人、スポーツ選手というだけで当選させてしまう人々に対する皮肉を込めた。わざと簡単な表現を使いました。

**先入観持てば歪んで見えてくる 桃葉**

当たり前の事柄だが、戒めである。こつこつと気持ちはどこかで持っていないといけない。熱くなっている時は、肝心な事を見落としている事がある。そういう事を教えてもらった。帆波

作者 先入観で見られて判ってもらえないことを詠みみました。世の中によくあることだと思えます。

**良い風だけ分けてあげたいあなたにも 裕美**

気持ちいいなと思つ。六平太

草原の風という新型扇風機がある。犬の散歩に出かけたときの風の心地良さ。流子

作者 犬の散歩をしていた時に良い風が吹いてきて、その時に思ったことです。

**しがらみをかなぐり棄てて脱皮する 六平太**

色々な事があっても壁を乗り越えるという気持ち。裕美しがらみを捨てると楽に生きられると思いました。栄子人間しがらみの中に生きていて、本当にながくり捨てられたいなと思えます。玉枝

作者 脱皮願望があります。

**恋愛へ一夫一婦のバリケード 京子**

面白いと思えます。恋愛したいけれど妻がいるからできないという気持ち。正

作者 自由恋愛をしようと思つても、奥様がおられるとできない。バリケードは比喩。

**毎日を笑顔で暮す年の功 三路**

今までよく生きたものだと笑顔でいられるのは、やはり年の功だと思えます。京子

米作りをしているが、そこにこられるお婆さんの笑顔がとても良い。品子

作者コメントはありませんでした。

**友愛が空しく響く基地の空 健**

少し時期がずれたが、未だ解決が付かない政治の問題。

三十六

今となれば、鳩山さんは自分の限界で頑張ったとも見えるが、政権交代前に戻っても虚しいだけ。流子

沖縄の綺麗な空と、基地の姿が虚しく浮かびました。桃葉  
作者コメントはありませんでした。

**旅先の太陽に会うサンゲラスともよ**

太陽燦爛としたところへ旅行するのはいいなと思う。いい句だとも思います。利江

サンゲラスは主人公。または主人公のワクワク感。サンゲラスそのままも取れるが、そこから広く探ることができ。「プロット」一人っきりの緑色 やすみりえ」という作品があるが、川柳手法として全体の中で目立った。

ELVIS

飛びきり目を開かせてくれるような、良いところへ旅行した時の思い。睦悟朗

そのまま読むとサンゲラスに反射するイメージ、そこから「旅先の太陽に会う」というところにつながるの面白い。「会つ」は「似合う」より「出会う」を意識しているのか。

帆波

作者コメントはありませんでした。

**小さきものそれでもユニオン旗上げる 流子**

句意をお聞きしたい。中小企業の組合を作られたのだろうか。中八が気になる。意味を聞いてみたい。三十六

作者 旗（はた）上げると呼んでいただきたい。組合の状況も昔と変わってきた。派遣切りに入った人たちが組合を結成する。中八については「それでも」という思いを伝えなかった。元々ある旗ではなくて、新たに結成した旗という意味なので。

**監視カメラ協会の方カメラ向け 順風**

どこの協会なのか判らない。相撲協会だろうか。倫也協会だけでは、判り難かった。玉枝

協会の方を監視しようという話なのだが、どこの協会か。カメラ、カメラと重なりも気になる。正

協会とはどこか、相撲協会と考えられるが。利江

作者 協会は相撲協会。暴力団対策のために監視カメラを設置するという話があった。本当は関係のある協会役員や力士を監視したほうがよいのではという思いから読みました。

**無菌室愛がゆっくり立ち枯れる ゆみ子**

無菌室の状況が判らないが、あまり平凡すぎて何も起こらない状態だろう。無菌室に入った事は無いが、そういった中では愛はゆっくりと立ち枯れるのだろう。倫也

無菌室はあまりにも庇護されている今の子供たちのことでは。その中で本当の愛というものを見失ってしまうのでは。利江

三十年くらい問題も無くじたはたしない夫婦。「愛している」と言っていればいいが、何十年も経てば、二人が自然にいたるだけで、刺激も何もなくなると愛は消えているのでは。打算であり便利な愛などというものは無い。竜雄

無菌室とはさっぱりした関係を表す。以前杉山承前という方に「愛」という文字で泡立つオキシフル」という作品を選んでいただいたのを思い出した。菌があるから浮き立つので、そういう意味で無菌室では愛は立ち枯れてゆくのだろう。「無菌室すくすく育つすくすく生きる 藤村みどり」という作品も思い出しました。ELVIS

この句を読んで、大阪で起きた幼児虐待の事件が思い浮かんだ。生きるための試練を受けてこない世の中が浮かび、これからの日本がゆっくり立ち枯れてゆくのではないか、そんなことを感じた。流子

人間の好き嫌いと、無菌室は違つなと思いました。順風ゆつかりに重点を置いて読んだ。所詮最後人間は死ぬのだなとおもつ。陸悟朗

無菌室の解釈で、産院の赤ちゃんを連想したので、立ち枯れるという意味が判らなかつた。三十六

一見上手そうな句に見えるのだが、無菌室でマイナスのイメージを導く作品は過去に多い。芳夫

無菌室を刺激がない状況と取つた。夫婦の関係が、空気、空気より軽いかも。品子

無菌室を平和で刺激のなくなった日本と取つた。そして幼児虐待のニュースと重ね、時事的に理解しました。帆波  
作者コメントはありませんでした。

### 課題吟

#### 「凌駕」 佐道 正選

「佳作」

アキレスと亀警察とネズミ講 帆波  
ロボットが熟練工の首を斬り 一平  
歴だけは遠君よりもはるか上 睦悟朗  
猛暑まで越えて暑さの山高く 竜雄  
いい浴衣花火に負けず人目引く くんじ  
B面がA面を抜く歌謡曲 朔太郎  
熊谷と多治見温帯とは言えず 京子  
親よりも子が豪邸に住んでいる 栄子  
チャイナマネーばかり闊歩の百貨店 ゆみ子  
LED白熱灯が消えてゆく 圭子  
才能を努力が越える棒グラフ しげる  
選り抜きの精子が辿り着く卵子 芳夫

「秀」

ユニクロの安値ブランド追い払う 倫也  
コスモスも野菊も呑んだ泡立ち草 流子  
イチローがベースボールの先を行く しげる

「特選」

爪を切る妬み嫉みの勝る夜は ELVIS

#### 「凌駕」 伊藤三十六選

「佳作」

LED白熱灯が消えてゆく 圭子  
屋台から名店街の料理長 玉枝  
ユニクロがパリコレ抜いて世界一 圭子  
父越える匠ミクロに動じない 桃葉  
ロボットが熟練工の首を斬り 一平  
婿殿は義父の社長を乗り越える 竜雄

才能を努力が越える棒グラフ しげる  
先輩を部下に侍らす下克上 利江  
ユニクロの安値ブランド追い払う 倫也  
チャイナマネーばかり闊歩の百貨店 ゆみ子

「秀」

砂嵐見せてデジタル化を急ぐ こいし  
アメリカを越えイチローは揺るぎない 玉枝  
芸人気もその後輩の顔でない 利江

「特選」

父はこうありたし夏の高気圧 芳夫

### 五分間吟

#### 「お盆」 丸山芳夫選

「佳作」

盆休み終わり優勝校決まる 正  
みほちゃんがまぶしくなつた盆踊り 京子  
君の手に触れたあの日の盆踊り 帆波  
ホタルだねお母さんだねお盆だね 帆波  
うら盆へ母らしい影黒揚羽 桃葉  
盆休み街の静けさ取り戻す 倫也  
一式をスーパーで買う盆踊り 六平太  
カセットが嫌いだけの盆の森 三十六  
風が来てふわりと座るナスの馬 利江  
盆行事実家の嫁よありがとう 京子  
盆踊り灯りに恋の三つ四つ 品子

「秀」

セミの声この高音はじいちゃんだ ELVIS  
父母帰り四代揃う盆の膳 睦悟朗  
新盆のまだ生きている気がしてる 京子

「特選」

仏様今年は長居出来ますか 桃葉

軸 お盆まで延ばしたのかな終戦日 芳夫

以上 まとめ 松橋帆波